

会議議事録

				記録者	近藤
供 覧	室長	課長	課長補佐	主査・係長	G員
件 名	令和4年度第1回龍ヶ崎市行政経営評価委員会				
年 月 日	令和4年8月8日（月）				
時 間	午後2時00分～午後4時00分				
場 所	龍ヶ崎市役所 5階第1委員会室				
出席者	【行政経営評価委員】 大橋純一 委員，大西徳二郎 委員，栗山武志 委員，石井隆太郎 委員，原加代子 委員，飯島進 委員，小野寺乾司 委員，岡澤明子 委員 【事務局】 萩原市長，木村市長公室長 企画課 岡野課長，栗山課長補佐，小室課長補佐，仲村主幹，石本会計年度任用職員，記録者				
欠席者	牧野光昭 委員，伊澤美緒 委員				
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由		(龍ヶ崎市情報公開条例第 条号該当)	
	部分公開 非公開	公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)			
発言者	内 容				
岡野課長	定刻となりましたので，ただいまより令和4年度第1回龍ヶ崎市行政経営評価委員会を開会させていただきます。 当審議会は，「龍ヶ崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づきまして，原則公開となっておりますのでご協力の程よろしくお願いいたします。 なお，本日傍聴人はいらっしゃいませんのでご報告させていただきます。 それでは，開会に先立ちまして萩原市長より一言ご挨拶申し上げます。				
萩原市長	皆さんこんにちは。 龍ヶ崎市長の萩原勇でございます。 皆様方におかれましては，公私共にお忙しいところ龍ヶ崎市行政経営評価委員会の委員をお引き受けいただきまして，ありがとうございます。 また連日猛暑が続く中でございますが，令和4年度第1回龍ヶ崎市行政経営評価委員会にご出席を賜りまして重ねて御礼を申し上げます。 私が市長に就任しましてから約半年が経ちました。 まだまだ短い期間でございますが，よりよい龍ヶ崎の未来を実現するために龍ヶ崎市長として今後どのような事に取り組んでいくべきかという思いが日増しに強くなっているところでございます。				

	<p>このような思いを形にするべく、今後の龍ヶ崎市政の方向性を定める新しい最上位計画の策定を進めているところでございます。</p> <p>先月は新しい最上位計画の素案を持って市内の13のコミュニティセンターに行きまして、市民の皆さんと意見交換会をさせていただきました。</p> <p>多くの市民の皆さんから様々なご意見を頂戴いたしました。</p> <p>その中で龍ヶ崎市長として断固たる決意をもって対応しなければならないと改めて感じたところでもあります。</p> <p>さて、当委員会におきましては、市の最上位計画、現行で言えば第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランとなりますが、その進行管理についてご審議していただく機関となります。</p> <p>P D C Aサイクルに基づく進行管理の中で、外部評価機関として重要な役割を担っていただくこととなります。</p> <p>委員の皆様方におきましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただきますよう、お願いを申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしく願います。</p>
<p>岡野課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委嘱についてご説明させていただきます。</p> <p>行政経営評価委員会委員の委嘱期間は令和4年6月18日から令和7年6月17日までの3年間でございます。</p> <p>本来であれば、皆様に委嘱状の交付を行わせていただきたいところではございますが、6月からの委嘱開始ということもありまして、委嘱状は事前に皆様に送付させていただいておりますので、本日は皆様のご紹介のみさせていただきます。</p> <p>それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。</p> <p>お名前をお呼びいたします。</p> <p>流通経済大学社会学部学部長、大橋純一委員でございます。</p> <p>同じく流通経済大学法学部准教授、大西徳二郎委員でございます。</p> <p>一般社団法人茨城県経営者協会から株式会社栗山電気代表取締役、栗山武志委員でございます。</p> <p>一般社団法人龍ヶ崎青年会議所理事長、石井隆太郎委員でございます。</p> <p>龍ヶ崎市女性会理事、原加代子委員でございます。</p> <p>龍ヶ崎市観光物産協会会長、飯島進委員でございます。</p> <p>続きまして公募市民としていたしまして選出させていただきました、小野寺乾司委員でございます。</p> <p>同じく、岡澤明子委員でございます。</p> <p>また本日は欠席となっておりますが、関東信越税理士会龍ヶ崎支部から伊澤美緒委員。また、一般社団法人日本能率協会自治体経営革新センター、センター長の牧野光昭委員にも委員をお願いしておりますのでご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、本日出席しております職員を紹介させていただきます。</p> <p><事務局紹介></p> <p>続きまして、本日の会議開催にあたっての留意事項について説明させていただきます。</p> <p>まず、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議中はマスクを着用し、飛沫感</p>

	<p>染防止にご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>また換気のため、定期的に窓を開けることがございますのでご了承くださいたくお願いいたします。</p> <p>また、本日の議事録作成のために音声を録音させていただきたいと思いますので、ご発言の際にはマイクのスイッチを押してから発言いただきまして、発言が終わったらスイッチを切るということでマイクの操作をお願いいたします。</p> <p>それでは、今回が委員改選後初めての会議となりますので、ここから会長が決定するまでの間、市長に議事の進行をお願いいたします。</p>
萩原市長	<p>それでは、会長の選任をいただくまでの間、暫時進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、会議の成立について確認をいたします。</p> <p>本日は委員数10名のところ8名に出席いただいております。過半数を満たしていることから、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>では議事に入ります。</p> <p>本日の最初の議題は会長及び副会長の選任です。</p> <p>当委員会の会長及び副会長の選任につきましては、「龍ヶ崎市行政経営評価委員会条例第4条」の規定によりまして、委員の皆様方の互選によるとなっておりますので、まず会長について立候補かご推薦いただける方がおりましたらよろしくお願いいたします。</p>
小野寺委員	<p>新任ですから推薦になるかと思うのですが、やはり経験者の方を優先的にお考えになっていただければと思います。</p>
栗山委員	<p>事務局で何か提案があればお願いいたします。</p>
萩原市長	<p>今、経験のある方、また事務局案とありましたが、事務局から案がございましたらお願いいたします。</p>
事務局	<p>では、推薦させていただきます。</p> <p>事務局といたしましては、流通経済大学、大橋教授にお願いしてはいかがかと考えております。</p> <p>大橋委員は現在、流通経済大学で教鞭を執られており、地域行政に関しまして精通しております。</p> <p>また、まちづくり地域やコミュニティなどでこれまで様々なご支援をいただいておりますところもございます。</p> <p>また、昨年度までの当行政経営評価委員会の委員長も務められていましたので、本市のふるさと龍ヶ崎戦略プランの進行管理に関してのご助言、ご指導をいただいておりますところもございますので、大橋教授ではどうかということで、ご推薦をさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
萩原市長	<p>経験もあるということで事務局より大橋委員との提案がございました。いかがでしょうか。</p> <p><「異議なし」との発言></p> <p>では、会長は大橋委員にお願いしたいと思います。</p> <p>私は以上をもちまして進行役を降りさせていただきます。</p>

	ご協力ありがとうございました。
岡野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>萩原市長におかれましては、この後別の公務が入っておりますのでここで退席をさせていただきます。</p> <p>それでは、大橋会長に議長席にお移りいただきます。</p> <p>ここで就任にあたりまして、大橋会長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。</p> <p>大橋会長よろしく願いいたします。</p>
大橋会長	<p>改めまして、会長を務めさせていただきます流通経済大学社会学部の大橋と申します。</p> <p>この委員会は、龍ヶ崎市の最上位計画の進捗評価を行う評価機関となっております。</p> <p>非常に重要な役割を担っているかと思っておりますので、皆さんの忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いしたいと思っております。</p> <p>時間は非常に限られておりますので、審議に関しましてはスムーズに行われるように皆さんのご協力のほどよろしく願いしたいと思っております。</p> <p>簡単ですが、挨拶とさせていただきます。</p>
岡野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここからの議事の進行につきましては、「龍ヶ崎市行政経営評価委員会条例第5条第1項」の規定に基づきまして、大橋会長にお願いいたします。</p>
大橋会長	<p>会長は私ということになりましたので、続いて副会長の選出をお願いしたいと思っております。</p> <p>立候補したいという方がいらっしゃいましたら遠慮なくいただければと思っております。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>もしいなければ、私の方で推薦させていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p>実はこれまでこの委員会、私と栗山委員が唯一これまで委員会を継続してきております。</p> <p>そのようなことから、先ほどもありましたけれど、これまでの委員会を知っております栗山委員に副会長をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p><「異議なし」との発言></p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では栗山委員よろしく願いいたします。</p>
栗山委員	はい。
大橋会長	<p>では会長は大橋、副会長として栗山委員ということで決めさせていただきます。</p> <p>それから、議事録署名人をお願いしたいと思います。</p> <p>名簿の方で私の方から推薦させていただきますが、大西委員とそれから石井委員。</p> <p>この2人の方をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>後日議事録がまいりましたら、確認の上、判子を押しいただければと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>議事録署名人は大西委員と石井委員に決まりました。</p> <p>では、早速議題の方に入っていきたいと思っております。</p> <p>すでに皆さんのお手元に資料が行っているかと思っております。</p>

	<p>まず、議題に従いましてこれまでの第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランの進捗評価についてということで事務局に説明していただきたいと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
岡野課長	<p>はい。</p> <p>それでは、説明に入ります前に資料の確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>本日の資料につきましては事前に送付させていただいております。</p> <p>まず資料 1 令和3年度第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン総括評価シートがございます。</p> <p>次に資料 2 令和3年度第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン進行管理シートがございます。</p> <p>次に資料 2-1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける事務事業の今後の方向性について（まとめ）という資料がございます。</p> <p>次に資料 3 重要業績成果指標KPI及び関連資料の近隣自治体との比較 A4横印刷のものがございます。</p> <p>次に資料 4 参考資料令和2年度第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランの進捗状況評価がございます。</p> <p>最後にこちらも参考資料として、現在の第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランの概要版を添付させていただいております。</p> <p>不足等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、時間の関係もございますので、担当より資料に基づき説明を進めさせていただきます。</p>
事務局	<p>事務局 仲村主幹より</p> <p>資料1 令和3年度第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン総括評価シート</p> <p>1ページから7ページまで説明</p>
大橋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんの方からご意見ありましたら、遠慮なくお願いいたします。</p>
小野寺委員	<p>目標3「人口減少社会に対応したまちづくり」資料の中で、JR常磐線の龍ヶ崎市駅の名前が変わったことで、龍ヶ崎市に何か影響があるのか、戦略的にプラスになるのかということをお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>駅名改称について、JRの龍ヶ崎市駅を起点とした部分ですが、駅名改称単体で効果が出るものではないという認識でいます。まずは、龍ヶ崎市という市名の認知度が近隣市町村に比べてかなり低いところが課題となっていますので、その部分をどう向上させるか、といった視点で行われた事業です。</p> <p>つまり、龍ヶ崎市内でいろいろ子育ての支援であるとか、魅力的な様々な施策を打ったところで、認知度が低いと、それを周りの人知ってもらえないということが本市の弱い点であるということでもあります。</p> <p>その認知度が低いという状況を解消するための一つとして、駅の名前に「龍ヶ崎」という名前を付ける事業を、まず一步目の取組として進めるというのが、駅名改称事業の主たる目的なのかなと思います。</p> <p>ですので、駅名改称した後に何をやっていくのかというのが一番重要になってくると思われます。</p> <p>例えば、駅の周りの整備であるとか、道路の整備とかロータリーの整備であると</p>

	<p>か、今少し止まっておりますけれども、道の駅等を含んだ牛久沼の周辺の活用であるとか、そういった事業と合わせて、駅の名前を変えたことを含めた龍ヶ崎市の認知度を上げていき、定住促進の事業やにぎわいづくりの事業等についても積極的にやっていくことで定住人口や交流人口を増やしていくというような流れになっていくということですので。</p>
大橋会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
小野寺委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
大西委員	<p>3 ページのところ、「住み心地が良いと感じる市民の割合」というところが 80% を超えていて高いですけれども、他方 4 ページ以降の「教育環境の向上」のところ以降につきましては、大体 40% 前後であるとか、5 ページでは 18% とか、そういった数値が低いです。</p> <p>住み心地が良いと感じている部分と教育環境の向上というところでその数値に乖離があるのですが、この乖離が意味しているところは何なのでしょう。</p>
事務局	<p>はっきりと分析をしているということではないですけれども、これはすべてまちづくり市民アンケートという、市民の方 4,000 人を無作為に抽出して、アンケート調査を求めるとものいうもので大体 1,600 から 1,800 人ぐらいの回答があるアンケート調査を 2 年に 1 度やっております、そこから出てきている回答になっております。</p> <p>住み心地のよいと感じるところは幅広い年齢層の方が、調査項目を自分のことだと認知して住み心地いいかどうか回答する一方で、学校教育になりますと、子どもがいる人達にとっては興味関心が高い一方で、子どもがいらっしやらないとか、高齢の方とか、そういう方に関してはその部分にあまり意識が向いてないということが回答の結果にどうしても出てしまうのかなという印象です。</p> <p>また、アンケートの回答者の年齢層も高齢者の割合が高いというのも現状としてはあります。</p> <p>無作為抽出で実施していますので、意図的に特定の年齢の幅を多くしたり減らしたりということとはできないのですけれども、やはり高齢者の方たちの回答率が強く反映されてしまうアンケートだというのが、この差が出てしまっているところにあるのかなと思っています。</p> <p>できるだけ是正するために、例えば子育て支援等の施策の部分では、年齢を少し絞ってアンケート結果を出しているところもあります。</p> <p>おそらく全世帯を対象に結果を出してしまうと、もっと数字が下がってしまうので、そういうところはターゲットを見ながらやっています。</p> <p>以上のような状況がアンケート結果に影響を与えている傾向はあるかなと思っています。</p>
大西委員	<p>ありがとうございました。</p>
大橋会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>なければ、次に入らせていただきます。</p> <p>では、8 ページ以降よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局 仲村主幹より</p> <p>資料1 令和3年度第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン総括評価シート</p> <p>8 ページから 13 ページまで説明</p>

大橋会長	<p>ありがとうございます。 今までのところいかがでしょうか。</p>
岡澤委員	<p>9 ページの「大学と連携した特色あるまちづくり」についてですが、サッカー部の練習場がある方に私の自宅があるのですが、職場に行く際にいつも自転車やバイクにすれ違うのですけれども、つくばの里の歩道など、あの辺の森林をちょっと綺麗にしていきたいなと思います。</p> <p>また、私の子どもが小さい時はサッカー部の方で教室や夏休みもフィールドで陸上の体験をさせていただいて時にとても子どもたちも喜んでいました。</p> <p>そういう大学生と子どもの連携というのは今後もできる限り続けていただければと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。 そちらについていかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今の歩道の話は、担当課の方に確認をさせていただきます。</p> <p>龍・流連携に関しては、この間ずっと市としては流通経済大学と連携しながら様々な取り組みをしてきたところで、運動部との連携だけではなく、例えば市民大学講座の開催であるとか、このような審議会等に大橋会長をはじめ、大学の先生に参加していただいたり、そういうことを連携事業として続けてきました。</p> <p>引き続き流通経済大学とは連携を強化しながら、もっとできることは多くあると思いますので、連携事業の幅を広げていきたいといえますか、内容を強化していきたいと考えています。</p>
大橋会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>大学の方から言いますと昨年の 4 月に新しい学長に代わりまして、その学長のもとで今、非常に地域貢献に力を入れていこうということで、特に龍ヶ崎校舎の方は、スポーツ健康科学部を中心にしたいろいろと地域交流について、特にスポーツ健康科学部のいろいろな知的財産、それから施設等を広く開放して、一般市民の方にも解放していこうという方針でこれからますます具体的になっていくかと思えます。</p> <p>これからはもっと市と連携をとりながら、いろいろな公開講座とかそういうものを積極的にやっていこうという方針でいきますので、これよりももっと増えていくのではないかなと思います。</p> <p>昨年は、私ども大学の方で障がい者によるアートを初めてやらせていただいて、ここは市役所も会場になって、非常に評判がよかったというふうに聞いておりますので、そういうものを今年度もやっていこうということでいろんなことを市と連携をとりながら、もっと地域を盛り立てていこうと考えておりますので皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>他に何かございますでしょうか。</p>
石井委員	<p>いくつかの質問と知りたいことが何点かあります。</p> <p>今後のPRやプロモーションというところが、ポイントかなと思っておりまして、これは行政の中で全部完結させるという形なのか、外部委託しながら宣伝していくのかということはどう考えているか教えて欲しいなど。</p> <p>まずこの1点についてお願いします。</p>
事務局	<p>プロモーションに関しては、シティセールス課がプロモーション全体の所管をしている課になっております。</p>

	<p>今の計画の中では、民間企業と委託契約を結び、プロモーション、特に子育て支援をこの間、龍ケ崎市としてはメインに据えておりますので、子育て支援の部分に比較的力量を入れたプロモーション活動を展開したり、先ほどありましたが、駅名改称の際には当然駅名改称というインパクト生かしたプロモーション、市の認知度を高めるという形で展開をしてきたところです。</p> <p>今後についても、プロモーションの重要性というのは非常に大切な部分になってきます。</p> <p>子育てに限らず、市がやっていることすべてに対してプロモーションというのは必要になってくると思います。</p> <p>今作っている次期最上位計画の中では、プロモーションに関してやはり一つ大きい軸として考えており、これは市全体の施策に関わるものという認識のもと、施策の位置付けを行い、取組を進めようとしているところです。</p>
<p>石井委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>僕はこの間の次期最上位計画の会議に参加させていただいたのですが、この計画書でこんなにすごいことをやっているんだというのが、多分市民の方の1割ぐらいしか知らないと思います。</p> <p>こういうことをどうやってPRできるかというのをこの場で話し合いたいのと、例えば龍ケ崎市最上位計画というタイトルでプロモーションやチラシを作成して、すべての地域に貼って全員から見える化したほうが最上位計画について理解できて面白いのかなと思います。</p> <p>もう1つがこの資料の12ページです。</p> <p>「スポーツ健幸日本一」のところと連動したいなと思い、面白いなと思ったのが人材育成について、シニア世代がこれから増える中でその方々と民間との連携ではないですけど、龍ケ崎でまだまだ人不足な中、家にいらっしゃる方もいるかなと思うのですが、そういう方々が働ける場を提供できる場所があればもっと面白いのかなと思いました。</p> <p>私、介護の仕事をしているのですが、事業所8個あるうちの1ヶ所の事業所スタッフの平均年齢が70歳ですが、それでも活躍できるというのはすごくいいなと思っています。</p> <p>これからの健康は運動するだけでなく、やりがい、生きがいを提供するところに少し連携した方が面白いのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>高齢者の方、仕事をリタイアされた方の働く場や生きがいづくりについて、いかに地域に関わりながら活躍をし続けてもらうかというのは、現行のプランの中でも一つ大きな課題として挙げられています。なかなか評価的にもうまくいっているところまではちょっと言えないのかなと思いますが、特に雇用の場の創出については、評価の中ではそれほど高い数値が出てないという部分もあります。</p> <p>当事者の方たちも含めて、どういうふうになれば生産力を維持できるかということは考えていかなくてはいけないと思いますので、そのようなところを次期最上位計画の中では考えていきたいと思っています。</p> <p>最上位計画のPRに関してはありがとうございます。</p> <p>市の計画は、あまり皆さん読まれる機会がないと思います。</p>

	<p>そのため、今回は比較的読んでもらえるよう形で計画書を作っていこうということで、行政用といいますか、冊子版はきちんとした計画の形を取るしかないのですけれども、本日もお配りしている概要版のようなものは、もうちょっと市民の方に読んでもらえるような作り込みをしていくということと、配る場所について検討しています。</p> <p>今まで、コミュニティセンターなどの公共施設や関係機関に置くということが多かったと思いますが、例えば商工会等の関係団体にもお願いをして、店舗に置いてもらうとか、ちょっとした雑誌風にしておけば暇な時間に見てもらえるということも意識しながら、配る場所についても意識して概要版は配りたいと思っています。</p>
大橋会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>例えば全戸配布はしないのですか。</p>
事務局	<p>全戸配布するまでは予算的に厳しいというのが正直なところで、補完するためにデータで公表していく予定です。</p>
大橋会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>私の印象ですけれども、龍ヶ崎市役所もかなり若い人が入ってきて、その若い人たちがインターネットやSNS等を駆使して市の情報を展開しようという試みをしているなという感じを受けます。</p> <p>非常に今龍ヶ崎市の職員の方は頑張っているなという気はしていますので、そういった所がどんどんこれから花咲いていけば、プロモーションという形で非常によいのかなと思っています。</p> <p>いずれにしても、これからはそういったインターネットやSNSを活用した広報活動というのが求められると思うので、よろしくお願ひしたいと思っています。</p> <p>他に何かご意見ありますか。</p>
栗山委員	<p>今回の総括について、目標値をずっと見て目標値に達しなかったものに×印をつけていたらほとんど×になっています。</p> <p>コロナという異常な状況もありますし、その目標値を設定する際についてです。</p> <p>個々目標に対してですね、昨年度からこうなったというところで必要な数字やコロナ前のところから考えたほうがいい数字もあるでしょうし、そういったものは目標設定する上で項目が増えるかもしれないですけども、考慮していただけるとこちらも評価しやすいのかなというところを感じました。</p> <p>また、目標値については大きい方がいいと思いますが、日々達成できる目標であると、市の職員の方や市民も含めてモチベーションが上がると思いますので、そういった数値を設定する際にいろいろ熟慮していただければなと感じました。</p> <p>あと、何か年かで計画すると思いますので、例えば商売であれば最初は赤字でも、そこから徐々に黒字持っていくということもありますので、その1年1年の一喜一憂よりは最終的にこのようになるんだというのは意識していただけるような目標値ができればなと感じました。</p>
大橋会長	<p>目標値の設定についても今日初めての方もいらっしゃるので、この目標値の設定はどのように設定するのか、それも説明があったらよいかと思います。</p>
事務局	<p>今お話のありましたとおりですが、実は総括をするにあたって、A B C Dのような評価をするべきなのかどうかというのは、内部でもありました。最上位計画策定審議会の方でも同じ資料を使って説明をしていますが、やはりそこでも評価しないのかという話のご意見としてございました。</p>

	<p>ただ、やはりコロナの影響でかなり数字が落ちてしまっているというのが現状で、例えば施設の利用者数等などは軒並み減ってしまっています。</p> <p>その数値のまま評価をすると、多くがC評価D評価となり、A評価やB評価はほとんどないという状況になってしまっていて、そういった評価を出しても意味があるのか、ということがあり、今回の評価では、あえてABC等の評価をせずに文章で評価をした上で今後の見通し等を書くということにとどめたということです。</p> <p>現状の数値目標の設定の仕方というのは、はっきりと分からない部分があるのですが、全般的に例えば5ポイント、10ポイント増やすというような流れで目標設定されたものが多いと思います。</p> <p>実際ベース値に対して、当初から高すぎた目標であったというものもある中で、逆に低すぎた目標というのもあり、翌年には達成してしまったという目標も個別の事業の中では登場しているというのが現状です。</p> <p>これは、これまでの審議会でも指摘されていて、やはりKPIの設定の部分について定期的に見直しができるような形をとっていかないといけないのではないか、というご意見をいただいてきたというところがございます。</p> <p>それもあって、ベンチマーク等、近隣自治体との比較についても参考資料として付けさせていただいているところではあるのですが、そのようなことを踏まえて、次期最上位計画の中では、目標値に関して直近のベース値だけを見ずに前2回ぐらいの結果までを追った上で、その間の数字の推移がどうであったのかというところを出していきながら、目標値を設定していくというようなやり方で考えて作っているところです。</p> <p>ただ、これについても審議会の方では意見がありまして、そのような方法だと現実に寄り過ぎて数字になってしまって、達成が簡単になってしまうのではないのかという意見や目標なのだから高くていいのではないのかというような意見もあるので、例えば重点的にやるような事業については、少しプラスアルファすることや、過去と比べてコロナ禍でも数値が上昇しているものについては、今後も上昇するというように見ていくとか、先ほど出ていた住みよさについて90%にあげるというのは多分かなり難しいと思いますので、そのような場合は具体的な数値を出さずに例えば現状の数値を維持することや、現状より下回らない等ということを目標として設定することも考えているところです。</p>
<p>大橋会長</p>	<p>はい、どうもありがとうございます。 それ以外に何かございますか。</p>
<p>大西委員</p>	<p>4点ほどございます。</p> <p>8ページの就職者数について、ハローワーク龍ヶ崎の就職者数というところで、令和3年度は453人という数字ですが、こちらはそもそも求人が減っているのか、それとも求人はあるけれども、就職する人の数が減っているのかどちらなのでしょう。</p> <p>求人数はかなりの数あるのだけでも、実際そこに応募する人自体が少ないのでしょうかというのが1点目です。</p> <p>続けて、2点目ですが、9ページ以降のところ流通経済大学との連携について、せっかく大学があってそこに大学生という若い人たちがいるところで、本学の学生たちで、スポーツ系で寮に入っている学生さんたちは別として、大体みんな車で来て車まで帰ってしまい、龍ヶ崎市内へ留まる時間が非常に短いと感じます。</p> <p>そのような若い人達をもっとまちに留める施策というのはされているのかというのが2点目です。</p>

	<p>3 点目ですが、10 ページ目で「防災・減災日本一」ということで、地区ごとに防災計画が作られているのだと思いますが、龍ヶ崎市は大きく 4 つの市街地がありますよね。</p> <p>それぞれ離れていると思いますけれども、4 つの大きな市街地でそれぞれ連携はとっていらっしゃるのか個別に動いているのか、それともいざという時にはこの 4 つが互いに手を取り合うような形になっているのか伺います。</p> <p>最後に 4 点目ですが、広報について、市民向けには広報紙であるとか、今日の資料等が配られていると思いますが、移住や定住促進をするのであれば、龍ヶ崎市がこういった取り組みをしているというのを逆に市外の人たちに知ってもらわないといけないと思うのですが、そういった市外向けの取り組みというのは何かやってらっしゃるのか、以上 4 点よろしくお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず 1 点目、就職者数、求人の減少の要因・状況等についてですが、細かい要因まで取れてないというのが正直なところですが、求人は一定数あると思われます。</p> <p>ただ、そこにマッチングできている件数が減ってきているのがあるのではないかとということ、ハローワークを経由しないで就職が決まっているケースも増えているのではないかと、ということなどが推測されます。</p> <p>明確に要因は分からないのですが、ただ資料にありますとおり、数値としては大きく減ってしまっているというのが現状です。</p> <p>次に、龍・流連携の部分に関してですが、具体的には学生さんに協力していただき進めるのが通常となっています。例えば、学校でいろいろ授業のサポートをしていただいたりですとか、観光関係では「てくぱく」という雑誌を実際に学生さんが街歩き、調査をした上で冊子にして市に提供するというような取組ですとか、学生さんと一緒にやることが多いというのが現状です。</p> <p>ただ、新しいところになかなかまだ手がつけられない、先ほど大橋会長からもありましたけれども、障がい者のアート展示であるとかSDGs のフードロスの関係でも大学から情報をいただいて一緒にやろうということ打ち合わせをしているところもありますが、そのようなものについては、もう一歩進めた取組ができていいのかなと思います。</p> <p>その際は、当然学生さんと協力していくのは、市としても考えたいということと、あとは学生さんにも情報発信をしてもらおう等、連携して龍ヶ崎市の魅力を作っていかななくてはいけないと思います。</p> <p>また、そのような取組の中で地元の人と関わっていくことも大切だと考えており、そういう場も増やしたいと思っています。</p> <p>防災・減災に関しては、龍ヶ崎市の防災の考え方は 13 の小学校区（コミュニティセンター）を単位としたいわゆる地縁組織を作っていくというやり方で進めております。</p> <p>4 つの市街地の外の地域も当然ありますので、市街地に限らずすべての龍ヶ崎の地区を 13 の地区に割り振って、地域コミュニティというのを作りまして、そこで防災の計画をそれぞれ立てて、まずは初動の部分は地元でできることは対応していくように取り組んでいます。その後、市全体に支援が入ってくれば、市やボランティア、関係機関等が間に入って全体化していくことで防災の体制をとっていくというようなやり方になっています。</p> <p>それから、プロモーションのところですが、市外への PR の部分について子育て支援に関して言えば、市外向けに雑誌を配布する等、できるだけターゲットを絞って実施しています。</p>

	<p>どこがターゲットかという点、常磐線の沿線で、具体的には我孫子とか柏、松戸、足立区ですとか、県内でも常磐線のライン上が移住してくる人たちの数としては割合が多いとのことですので、できるだけ千葉、東京の東北部等に対して、そこで発行されている地域誌のようなものに龍ケ崎市の子育ての環境に関してのPRを載せたり、市の旅行雑誌的を作成し、そこに市のPR等を載せながら、それを市外に向けて配布したり、市のPRポスターを作って、龍ケ崎に住んでみませんかというようなものを常磐線の取手以南の駅に貼り出す等、そのような取組をターゲット絞って行っています。</p>
大西委員	<p>ありがとうございました。</p>
大橋会長	<p>はい、どうもありがとうございます。 去年は確か YouTuber を使ってやっていましたね。</p>
事務局	<p>そうですね。 鉄道が好きな YouTuber の方に市の魅力、鉄道とか乗り物を絡めながら制作しました。</p>
大橋会長	<p>どうもありがとうございます、いかがでしょうか。</p>
小野寺委員	<p>お願いごとになるかと思うのですが、私は高校を卒業してから今の会社に44年務めております。</p> <p>先ほど石井委員の方からありましたが、いわゆる60・65歳というような方々というのはやはり会社ごとにとっても実績があって、いずれは会社を終えてこの龍ケ崎市に帰ってきます。</p> <p>その中で、そうそうたる面々が龍ケ崎市には埋もれたままになる可能性がありますので、その人達が何らかの龍ケ崎市のためになることできる環境があればと思います。</p> <p>例えば、私は印刷会社ですので、龍ケ崎市の子どもたちに夏休みの期間、印刷博物館に連れてあげたいというような要望等があれば、会社の方に相談して実施できるような面々が会社毎にいらっしやると思います。</p> <p>そういう部分的な課題をこちらに帰ってくる社員というか、退社されている方々OBも含めてタグを組めたらよいと思います。</p> <p>我々の経験上、やっぱり居場所が必要かと思っています。</p> <p>そんな中で一つの課題を与えていただければ、何らかの活躍ができる場所があるのではないかなと石井委員が言われたことは大きなヒントになるのではないかなと思います。</p> <p>あと1点、これもお願いですが、この今回のプランに関しての進行管理、これを一つの企業で見たときにいろいろな目標値はかなり高いです。</p> <p>その中で、この2017年版の資料について、前市長の顔写真が写っていますが、ちょっとおかしいかなと思います。</p> <p>前市長から現市長の掲載にモディファイできないものでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>最上位計画の話は先ほどもちょっと話しましたが、今の計画は5年計画ということなので2017年に作ったものになってしまうのですが、次の計画は4年で見直す予定です。目標数値は社会の情勢によって大きく変わる可能性があるため、そこについては審議会に意見を諮りながら、修正するものについては修正ができるような形を考えております。</p>

	<p>今は計画の中に数字として載せてしまっているのですが、議会で議決してもらわないと変えられないというところが問題点でありまして、次の計画では修正していきたいと考えております。</p>
大橋会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>先ほどのご意見について、最初の方は要するに地域にも埋もれてる人材をもっと活用しようとしたらどうかということであると思います。</p> <p>特に龍ヶ崎市は市民活動日本一ということを謳っているのですが、これまでもコミュニティ活動の場をいろいろと提供されていると思いますので、そういうところはかなり地域にございますので、そういったところで市民の方も積極的に参加していただければと思います。</p> <p>それ以外なければ次の報告に入っていただきましょうか。</p> <p>ではの次の議案の方をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局 仲村主幹より</p> <p>資料 2 令和3年度第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン進行管理シート及び 資料 2-1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける事務事業の今後の方向性について（まとめ）から一部抜粋して説明。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料の2についての報告説明で何かご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
栗山委員	<p>資料 2-1 についてグレーになっている2つの項目に何か意味があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>グレーの部分は、重複しているものになっておりますので、17 ページですと 14 ページと内容が同じものになっていたり、34 ページのものと 19 ページと内容が重複していますので、そういった色づけをさせていただいております。</p>
大橋会長	<p>他になければ、審議については終わりになります。</p> <p>では、事務局にお返ししますのでよろしくをお願いいたします。</p>
岡野課長	<p>長時間に渡りますご審議ありがとうございました。</p> <p>本日皆様からいただきましたご意見を踏まえまして、施策の推進に努めて参りたいと考えております。</p> <p>また、本日の資料につきましては、会議録とともにホームページ等にて公表とさせていただきます。</p> <p>署名人のお二人には後日、議事録についてご確認いただき署名をお願いいたします。</p> <p>最後にその他としまして事務局の方から連絡事項がございますので担当より説明いたします。</p>
事務局	<p>本日はご審議いただきありがとうございました。</p> <p>本日の審議にご参加いただきました報酬につきまして、委員の皆様からご指定いただきました口座に約2週間後を目途にお振り込みさせていただきます。</p> <p>なお、改めてお振り込みに関する通知等は予定しておりませんので、各自通帳記帳等によりご確認をいただければと存じます。</p> <p>また、次回の第2回の委員会につきましては11月の開催を予定しております。</p> <p>日時等詳細が決まり次第、改めて通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>

	<p>以上です。</p>
<p>岡野課長</p>	<p>それでは以上をもちまして令和 4 年度第 1 回行政経営評価委員会を終了といたします。 本日はありがとうございました。</p>
<p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">委 員 長 _____</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">議事録署名人 _____</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">議事録署名人 _____</p>	